

ふ
ゆ
も
の
が
た
り

EXTRA



ふゆものがたり

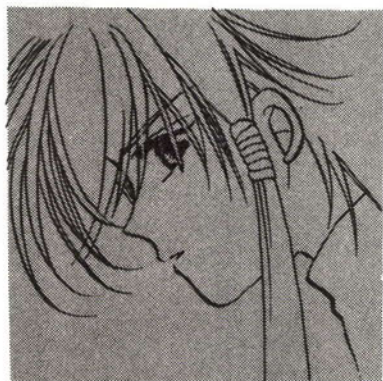
EXTRA



azusa yuhki presents

ふゆものがたり（前）

悲しみのはじまり（楽園喪失）



n
a
g
i

私は夢を見ている

私を裏切るつもりなのか！

どこへ行くつもりだ
ナギ!!

私にはもう

あなたが解りません

…姉上



なぜだ!!

なぜ解らぬ！
すべては…

許されない事です…

すべては私たちのため…

私たちの
ためなのに…！

十

その夢は何度も見た

けれどいつも目覚めた時に

すべて忘れてしまうのです

何を

見ているんだい
セレーニ?



村長の話も
あながちウソでも
ないかもって
気がしちゃう

村長？

まゆつば
だけどね

嫌いじゃないわよ
でもこうずーっと続くと
いい加減嫌いにもなるわ



なあんにも

雪以外
見えないもの

ふふ

セレーニは
雪が
嫌いかい？



“冬の神が
春を閉じこめた”

ってね！

今時そんなの
ナンセンスよ

ナギの事だって
きっとそーゆー
感覚なのよ

…頭にくるわ

ナギは
旅人です

今はどの村も
大変だから

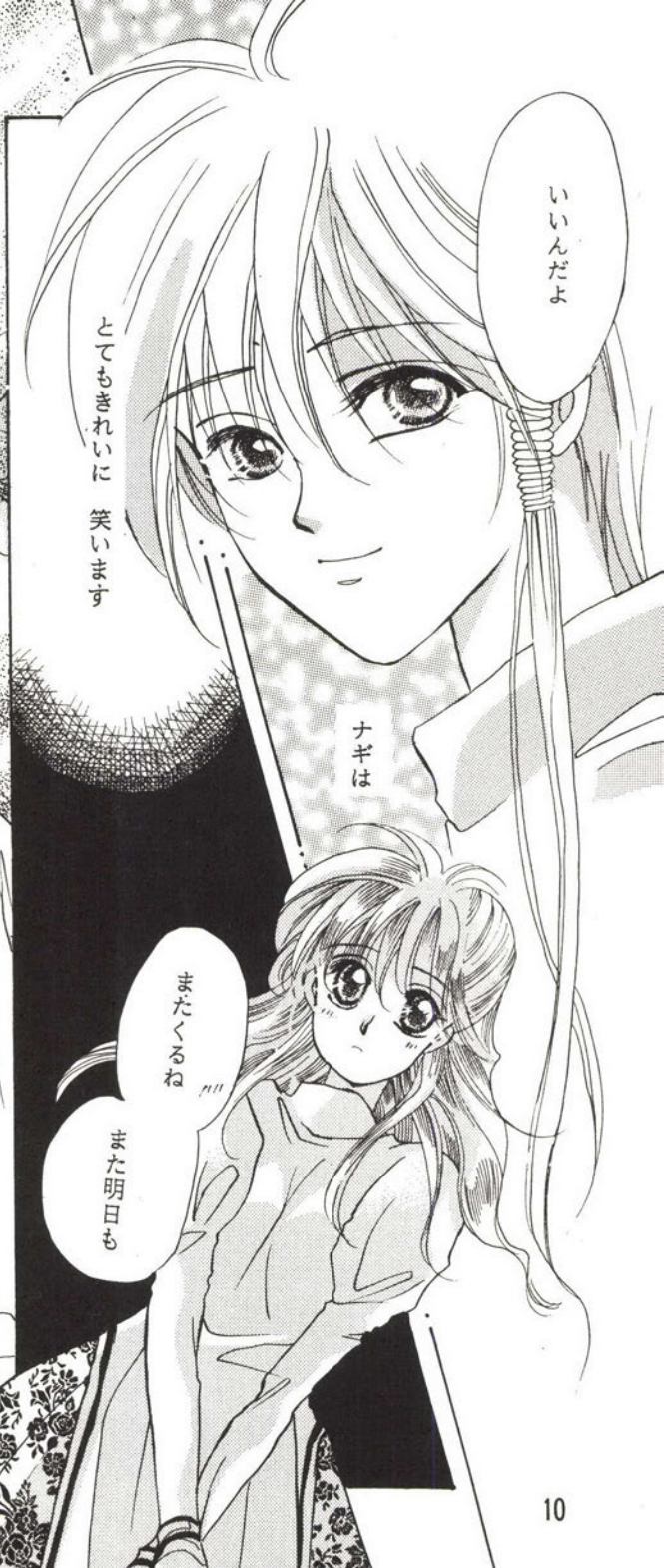
でも！

この雪深い中
大怪我をしてたどりついたらけれど

「よそもの」というだけで
この小屋に追いやったのです

いいんだよ

君がきてくれれば



たとえ責められても
私が
ナギを守ろう

ずいぶん遅い
お帰りだね

セレーニ

※

ダイスが
おどろかすんだもん

モ、

村長かと
思っちゃったわ!!

なんて声
出してんだよ

だっだって!!

まだ根にもってんのかよ
あの旅人を追い出した事

もってるわよ!!

いい人か悪い人か
なんて
目を見れば
わかるのに

ただ やみくもに
村へ入れてあげない
なんて ひどいもの!!



あれでも俺の
父親なんだ
けどね

あ
ごめん...

でも掟は掟だ

セレーニはこの村の
者なんだからさ

くっ



ほんとうにいい人
なのよナギは

信じて
ダイス

…そんなの
わかってるわ

わかってるけど…

セレーニ?

ほらまた雪が
降ってきたわ

まっしろな

雪が

ダイス

はやく
家へ入る?

降ってくる……

春はいまだ

遠い

和...

どこへ
無駄だ

逃げたとして

お前は私の
大事な弟




においで解るぞ

ナギ

行けよ寒気!

荒れよ凍気!!



そのとき私は
永遠の命を手に入れる

時の流れを
止められるのだ

そして

奪い返すのだ

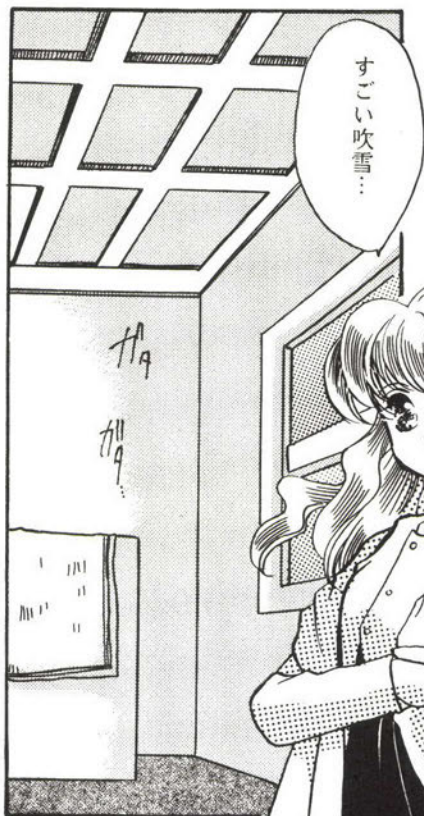
春の玉を!!

「私は
死なぬ」

私を止めたければ
止めればよいわ!!

ナギ!!

それがお前に
ためらっていた事を
できるのか? 後悔するがいい!!



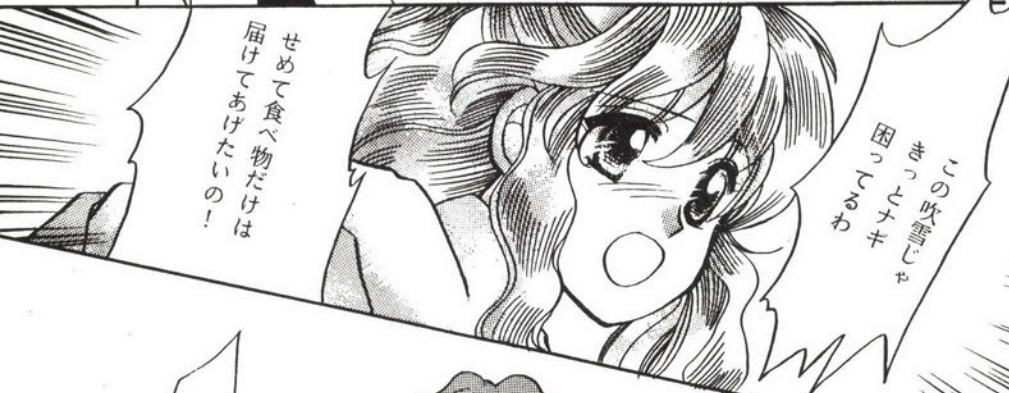
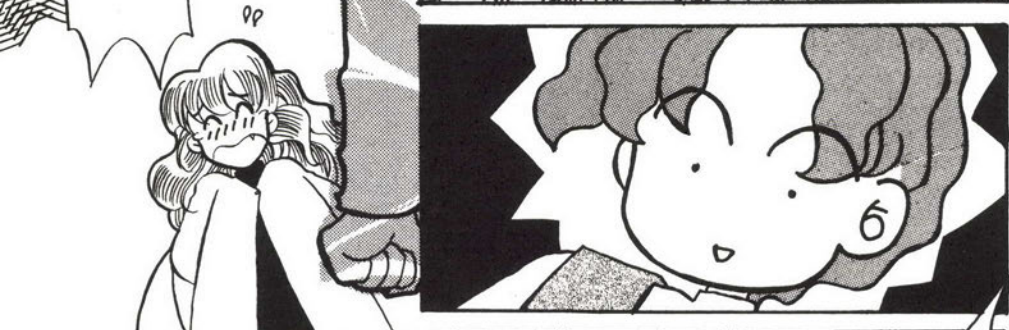
すごい吹雪…

さあ
ナギ！

出来るものならばな



ナギ…
大丈夫かな…



今、外は猛吹雪
なんだぞ！

その中に
出るって事が
どういう事かくらい
わかるだろ！！

でもほんの数十分よ！
これでも私は
この村の住民よ

それくらいじゃ
死なないもの！！

知ってるわ！！

それを言ったら
あの男だって
そうだろう

一日二日
食わなくなったら
死にやしない

そっ

それは
そうだけど

それみろ

どうしてそこまで

入れ込むんだよ

あんな得体の
知れない奴にそこまで
してやる義理なんて
無いだろ！

いくらセレーニが
「いい人」だって
言ったって

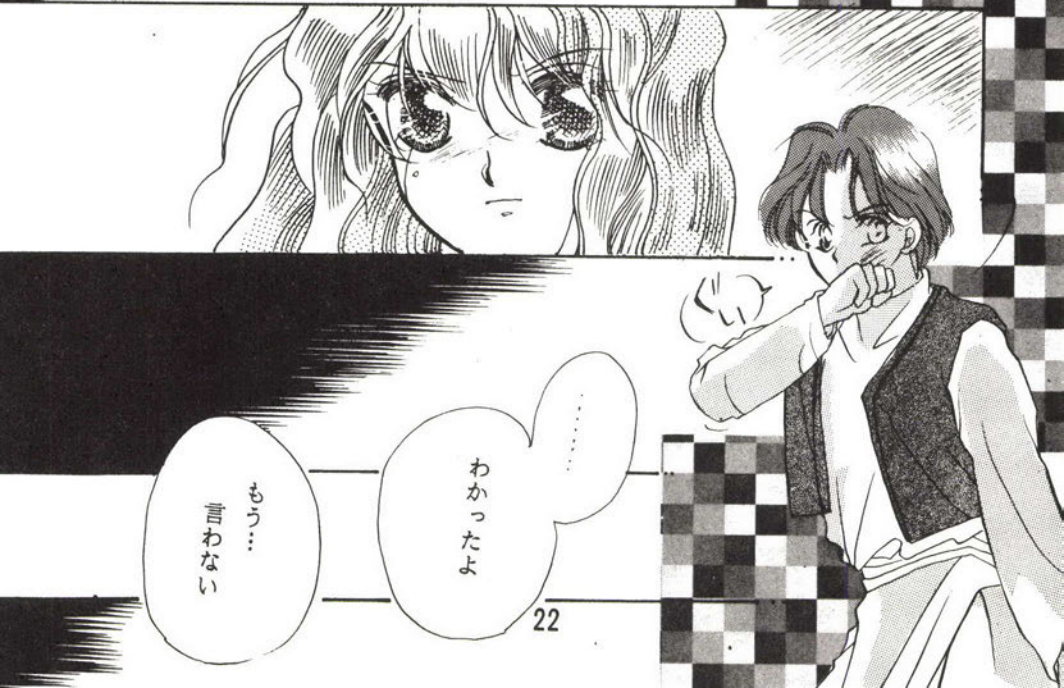
それが本当か
どうかなんて
解らないじゃないか！

第一セレーニは
本当の奴を知ってるの？

なぜこの村に
流れ着いたのか
どうして怪我したか
知ってるのか？

ダイス！

セレーニは



10A7...

ナギの事を 知っているかどうか なんて

考えた事も
なかった


ダイスのばか...

ナギの笑顔や大きな手のひらや

私を呼ぶ

声が


好きで



それだけじゃだめなの…？

ナギ…

近い



ここへ来るのは…
時間の問題だな…

逃げるなら
今が最後の
チャンス

逃げるなら

でも

別れさえ
言えないのはつらい

ナギ

ナギ

セレーニィ!?



一緒に連れて行って…



ギッ

僕の行こうと
する先は

真の
寒さの
ある国だ

どんな運命の
道を
選ぶとも

その行く手は



それでも？

暗く冷たい
氷の大地





ナギがいるなら

いいわ!



セレーニには

とても似合わない

冥府



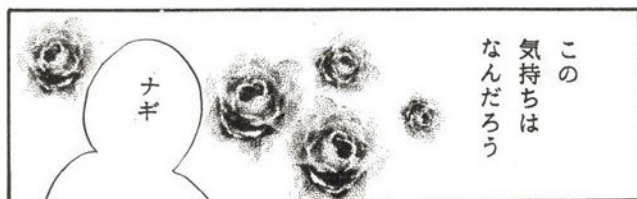
又は



冬の国

君は本当に
純粹すぎて

困る



この
気持ちは
なんだろう

ナギ

お願い
だから



連れて行って

あの
覚えていない
夢も

こんな気持ちに
なった

ダ

…ちくしょう
どこへ行ったんだ!

セレーニは!



村の館にも
この小屋にも
いないなんて…



まさか

ついていった?



どうしたってこのま

とても悲しいの

オオオオ



あんな得体の
知れない男に？

まさか

そこまで…？

うそだ…ろ

セレーニは無邪気で かわいくて

気丈なのに

涙もろい子で

そんな事ができるはずない子なのに

しょう



セレーニ!!

セレーニ

セレーニが 変わってしまう

ちくしょうあいつ
ナギの奴!!



セレーニが



それは

だれだい?

な…
誰だ
こいつ…

お…おまえこそ

私が聞いているのだよ
ぼうや

この小屋の

においの主は

その子かい？

死にたくなければ
お言い

こいつ…何を言ってる…

答えをお言い

冷たい瞳

意味は
わからない

…でも

…ナギ…

そうかい

見つけた

見つけたよ

ナギ

どうあがいても
お前は私から
逃げられは
しない！

連れて帰るよ

私の国へ

永遠に続く

氷の国へ

考えた？

死神のような

腫

あ…

何を

今
俺は

待ってくれ！

あ…あ…

うん…

待ってくれ
死神!!

ナギを殺したら
だめだ!!
うそだ!!

待って下さい……!

セレーニが

悲しむ

ゴッ

お願いです…

死んで…

冬將軍が

やってくる

欲望の剣を携えて
永遠に贖えぬ罪を犯しに……

約束して

離れないって

痛み

悲しみ

春になっても

何度目の
冬になっても





交わされる
いくつもの約束



願い

叫び

ああ

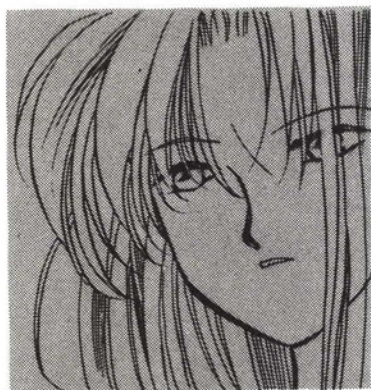
そうだね……

罪がふりそそぐ

ふゆものがたり (外伝)

L u n a s F o r t u n e

月の運命



S
U
S
A

満ちては欠け 欠けては満ちる

それは 運命の波のように

一番強く 残酷で

氷の心をもつ者は
お前

氷の王に相応しい

なみ

安らぎをおくれ

こおりの

安らぎを 母上

心を持て

姉上

姉上…



姉上

何処に
おられるのですか

ナギか…

…はい
姉上

それ以上
来るな

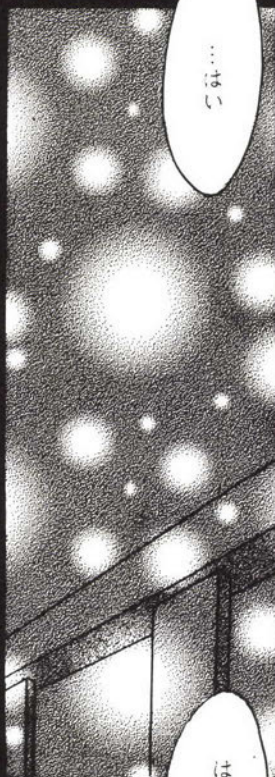
私は

お前を
殺すぞ



雪が

……



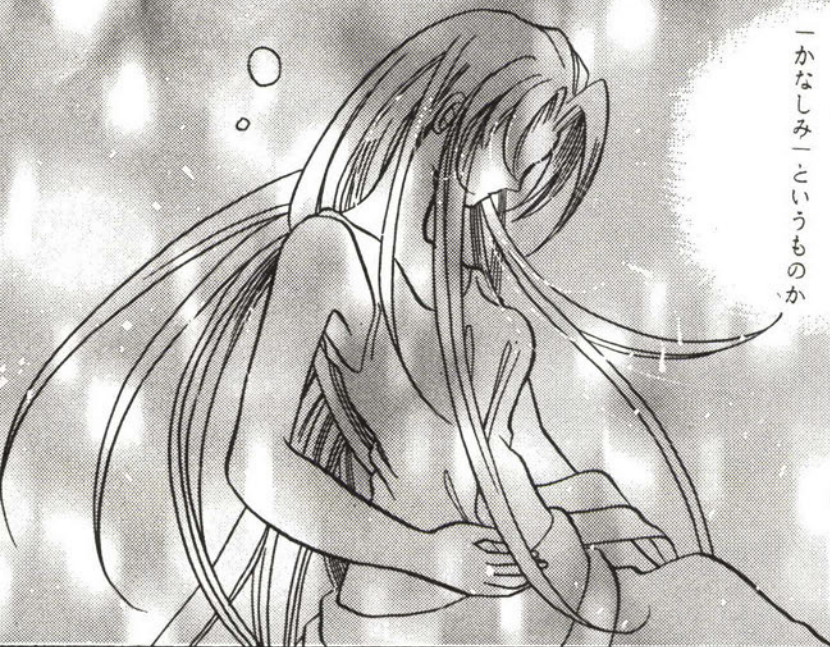
はい

姉上

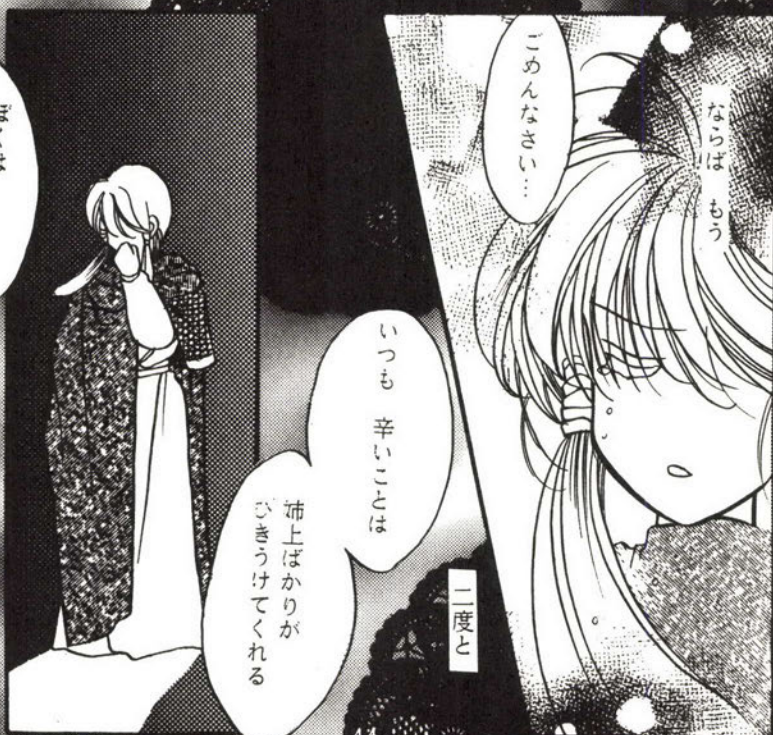


こんなにも
冷たいもの
だとは

知らずにいたんだ



これが
「かなしみ」というものか



ならば もう

ごめんなさい...

いつも 辛いことは

姉上ばかりが
じきうけてくれる

二度と

ぼくは

母上にも姉上にも

なんにも

してあげられない

感情も 表情も

ぼくは...



ナギ

何もかも
凍りつかせて

それは
違う



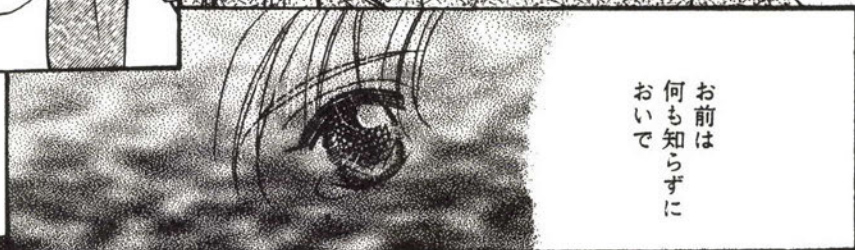
泣き顔など
うっとうしいだけさ



だから

私は力が
欲しいだけ

母上のためでも
お前のためでも無い



お前は
何も知らずに
おいで



この世界の
誰よりも



あいしています
ぼくの
姉上

ばかな事ばかり
言うんだね……

いつか
お前に

私以外の

大事なものが
出来ても

おいで
ナギ

いつか

それがたったひとつの……

同じ言葉を言っておくれ

それだけが 願い

一姉上

—あなたが 解りません—

悲しみは繰り返す

それは 月の満ち欠けのように

月の運命 終



BREAK TIME

◎ページが一枚余ったので穴埋めです。このあたりで丁度半分ですし。頭と精神を休めるため、ちよっとお付き合い下さい。続きが気になって下さるなら、先へお進み下さい☆

◎この前編は1994の冬に描いたものです。ほぼ、一年半前の原稿です。（とほほ）つくづく、絵が下手で笑ってしまいます。こんなんを平気な顔して売ってた俺…ガーン。でも、一生懸命さだけは伝わってきますね。偉いぞ、俺。（…）ただ、本当に惜しむらくは、衣装設定がぞんざいな事だ…。これを描いてたころは描きやすさ重視だったので、あんまりゴテゴテとしたものはつけなかったんですよ。しかも「この布はどうやって巻いてるんだー！」的な物が多いし（笑）。今だったら、もう少しカッコいい衣装を着せてあげるんですけどね。ちえっ。あと、つつこみを入れないで欲しいのが、おねーさまの額飾り。コマによってあったり、なかったり…（笑）。いやー、衣装設定はちゃんと作りましょうねー、という良い見本。いつも世界設定は作るんですけどね…。（苦笑）後編はナシで通しました。（たぶん）ちなみにセレーニも…いろいろ（笑）。気づいても、知らんぷりしてね（笑）。本人が一番良く知ってるので（爆笑）。

◎それでは続きをどうぞ。ゴー、ゴー！

ふゆものがたり（後）

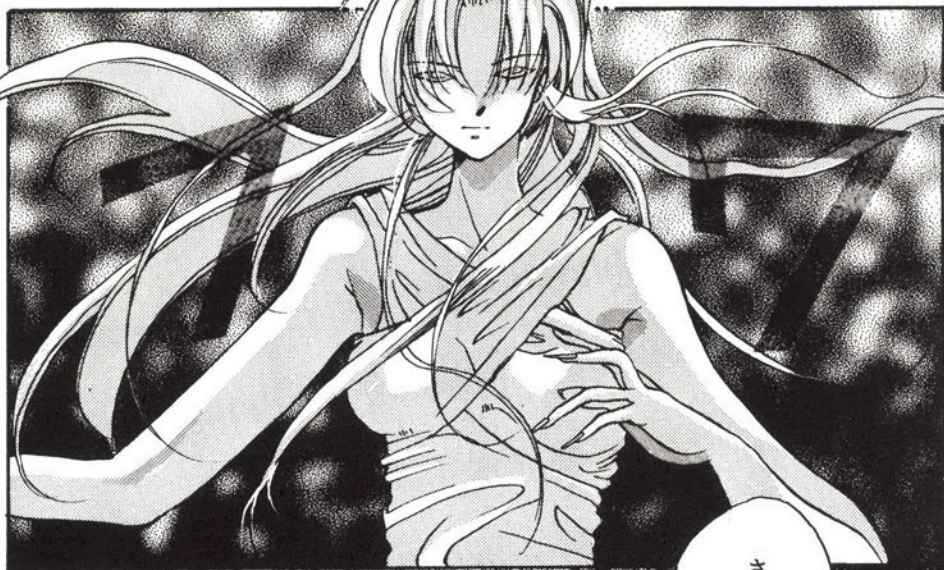
哀しみのつづき（無声慟哭）



s e r e n i

来た





さがしたよ

ナギ

あの人は 何?!

まるで

氷で できているような

ひとつきだ

この私が

一月さがし回ったよ

だが

それも終りにしよう

なあ

ナギ?

追い結めても
追い結めても…

お前はうまく
逃げおおせる
たいしたものだよ

まさか…この人が

ナギに

ケガを負わせた人…!?

姉上

やはりあなたは
あきらめては
いないんですね



…それは罪です

あなたは
間違っている

私たちのためだ
ナギ
何をためらう
必要がある？

お前も本当は
それを望んで
いるだろう

何をあきらめる
必要がある？

又

…ナギ…?
行っちゃう?

玉をお渡しナギ

そして帰ろう


二人だけの王国へ

懐かしい

凍てつく大地へ

…
望みは

かなわないのが
世の常です



僕たちだけが
幸せになる事は
たやすい

それが…答えか

春を閉じ込めた罪の玉

これ以上罪は重ねられない

けれど
春をひたすら
待つ人々は…

森や動物は
どうなるのですか

このままで
いいわけではない…

ホウ...

お前は...

変わってしまったな...

そんなに私が

憎いか?

春を閉じこめた事が

...いいえ

変わってしまったのは

あなたです

そんなに恐いですか

千年の時を生きて尚



死が

…今のお前には

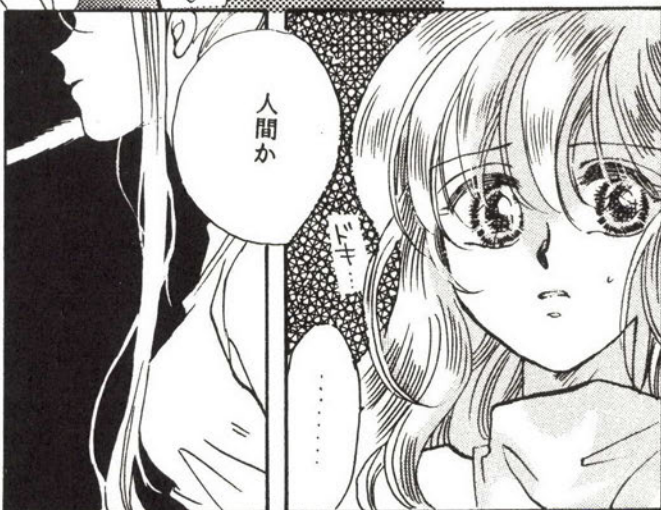
もはや解らぬな

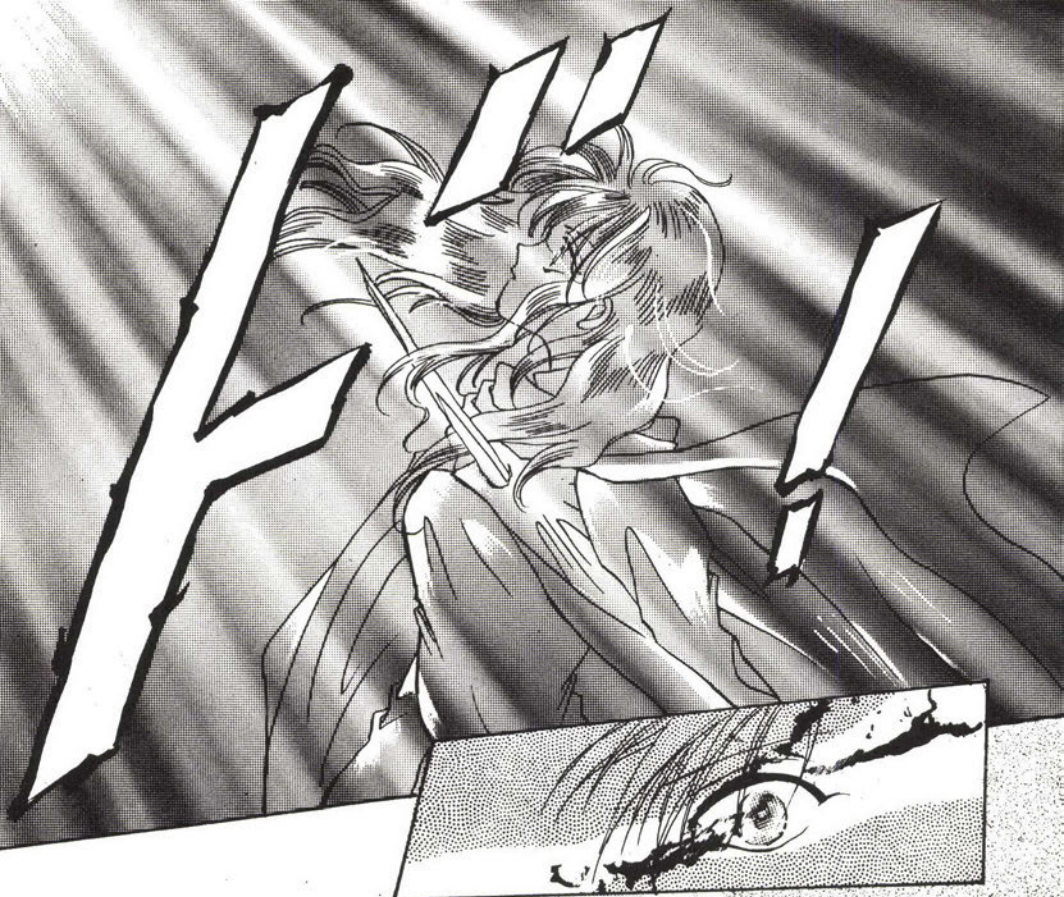


人間か

脆弱よな

ドキ……







さあ

帰るよナギ

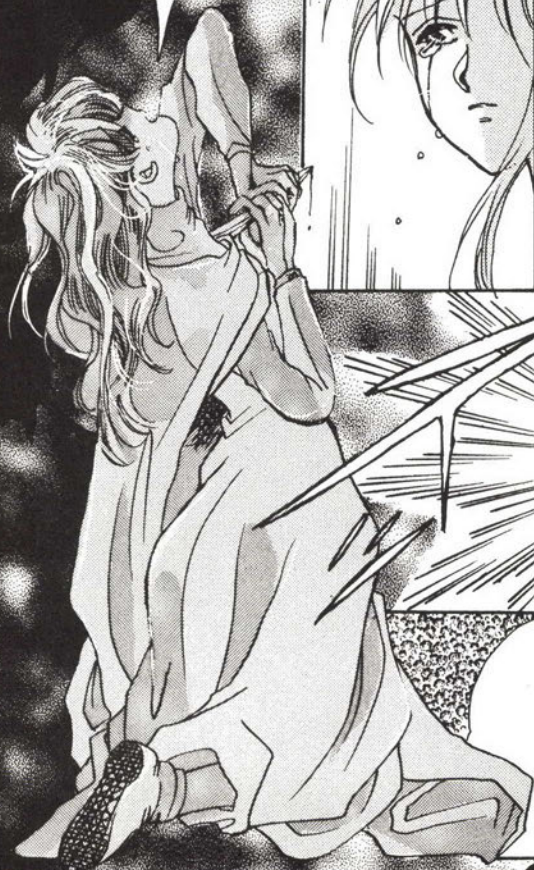


姉上…

あなたは…

何て事を…

何て…事を!!



死んじやう…!!



それでもまだ
私に従わないならば

お前はその子の死体を
抱くことになるよ

なぜ僕に

選ばせるのです

僕の力で

逃げたんじゃない

あなたが逃がしたんだ

二人だけで

追い詰めても

手かげんして

生きてきた

キズをつけても
死ぬことはなくて

それならー

僕を殺して

奪えばいい!!

だから

僕は
選べなくなって
しまったんだ…

優しい
思い出が

くり返す


声も

…
…
…
違う

それは
お前の力だ

私は

そんな
甘いことはせん
でなければ



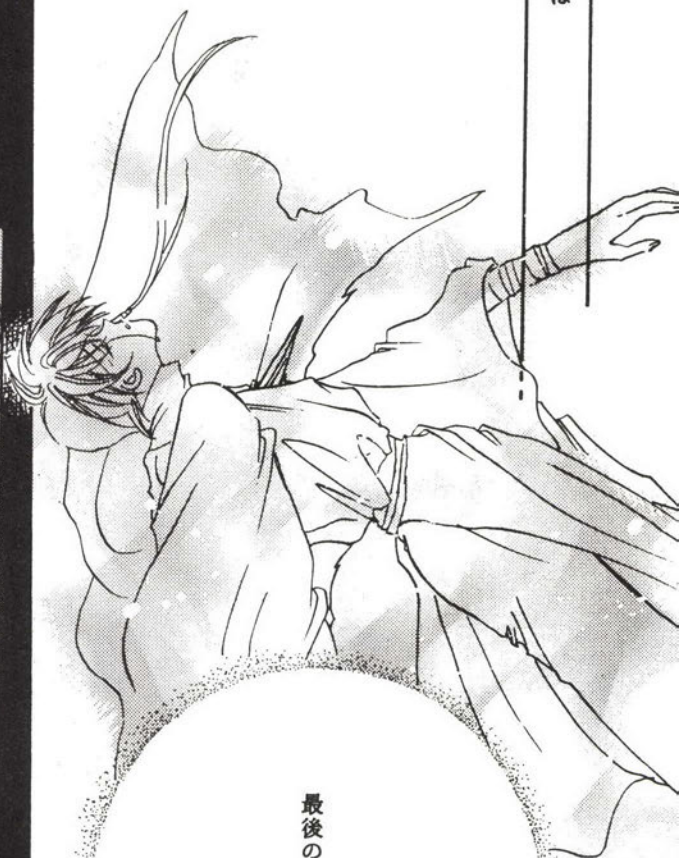
冬の神など務まらぬ

姉上…

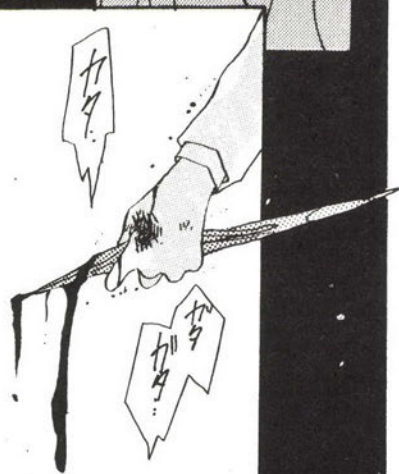
今度は

急所だな

それは



最後の嘘ですか



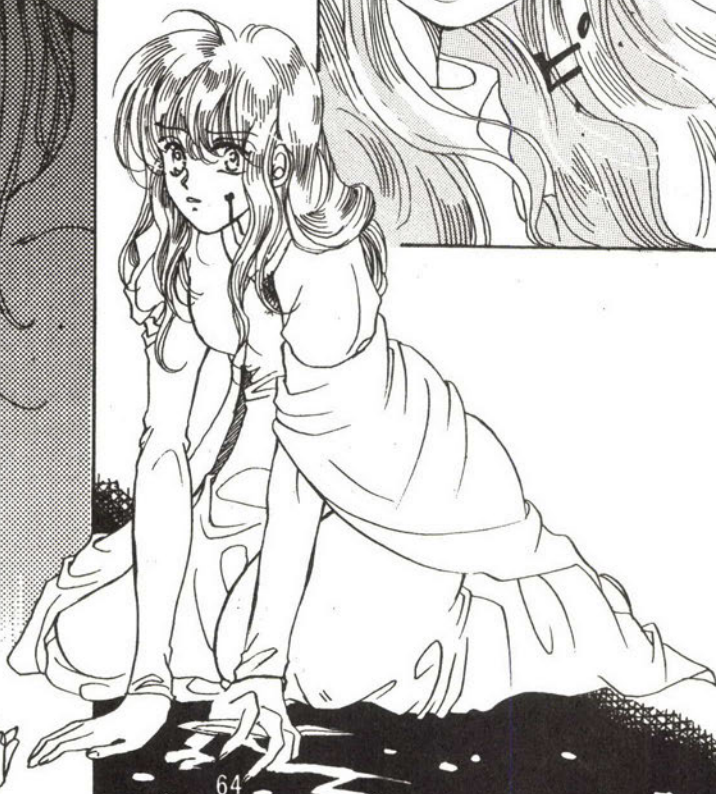


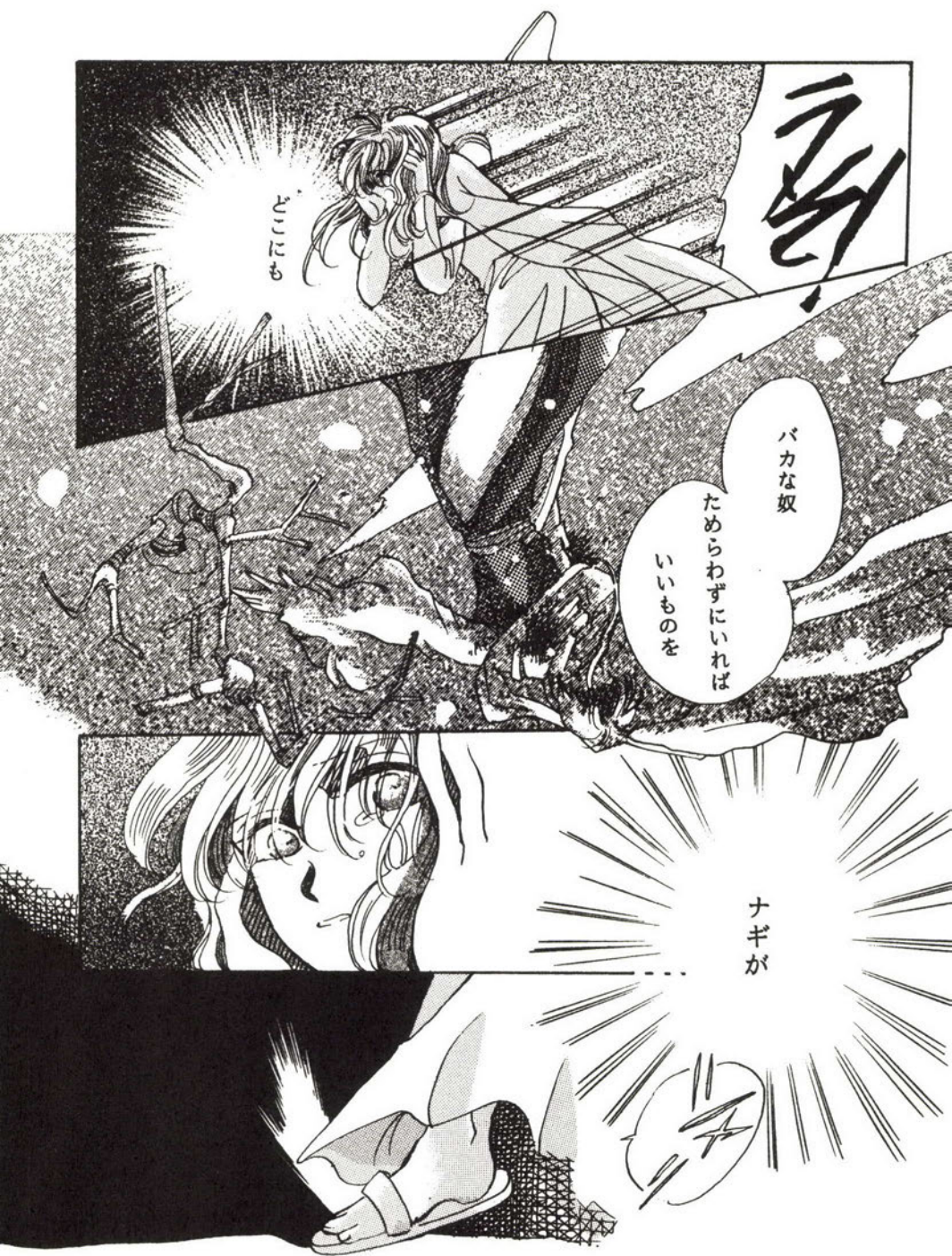
手のひらや声や笑顔は

うそよ

「一緒にいてね」

ふたふた...





どどど

ア

バカな奴

ためらわずにいれば
いいものを

ナギが

ナ



どうして
生きていられるの

夢を

あなたが
死ねばよかったのよ

私は夢を見ている

娘

そこをどけ

ナギが

よらないで

それ以上

命がけで守っていた玉

悪い夢を

最後まで壊せずにいたもの

ナギに

それ以上近付かないで

あたしだって
解るのに

どうして
あなたには解らないの

裏切り者!!

どうしてなの?

愛されてたくせに

壊したくなかったもの

こんな…もの



それは



憎めばいい

それで終る

どうした

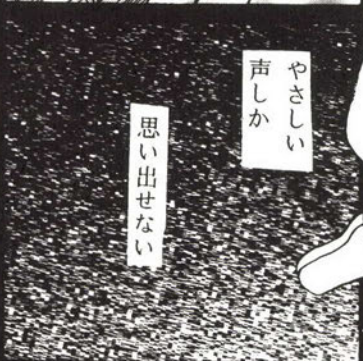
割らないのか



そんなふうに笑わないで



呼ばないで



やさしい
声しか

思い出せない



ナギ



選ぶのは

お前たちだ



笑顔しか

「セレーニ」

私は

憎んでる

声が

…でも

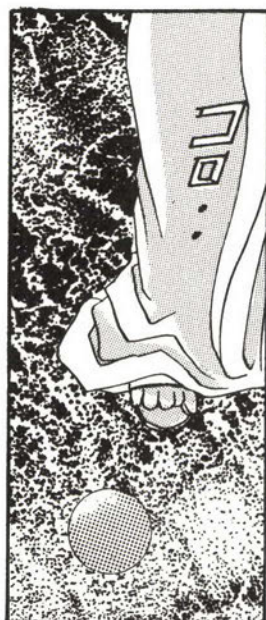
憎まない

響くよ

あなたが好きな人だもの

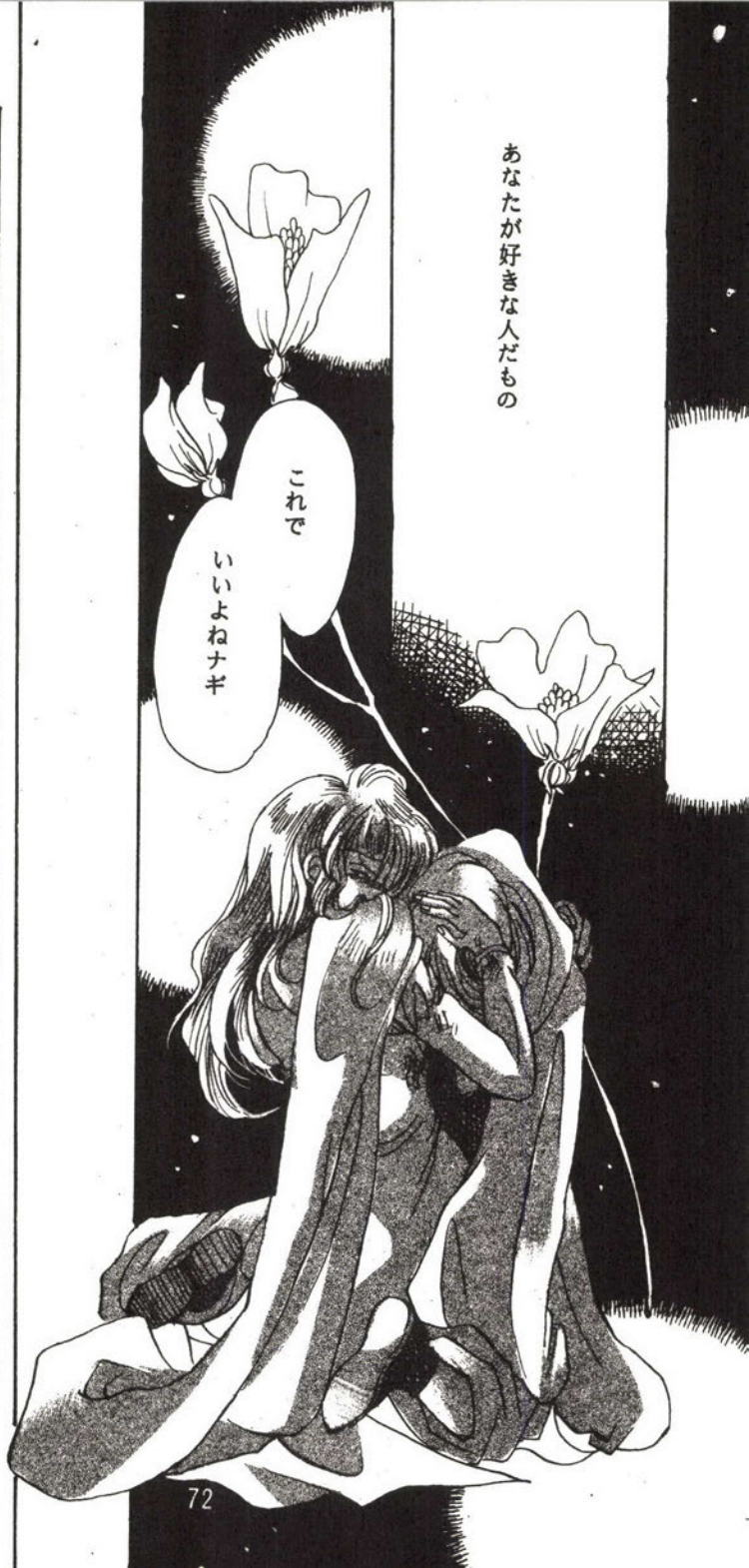
これで

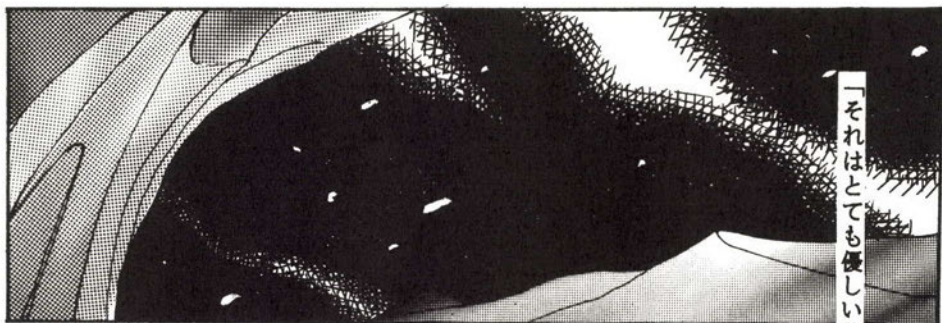
いいよねナギ



「夢を見たんです」

「姉上」





「だから 姉上」

「もしもそんな時が来たら一緒に空を翔けましょう」

あれは いつのことだったか

もう思い出せないほど 昔の事

何も見ずに

何も残さず

千年の時は過ぎ

お前の声も聞こえなくなって







どうだいナギ

私も捨てたものじゃないだろう

お前なら

ひとりに

「意地っ張りですね」と笑うかい？

せずに済んで

雪が
見えない

安心したよ

聞こえるのは 声

遠ざかる足音

みんな消えていく

まるで夢のよう

...さめないで



こんな辛い夢でも

覚まさせないで…

吹雪よ

私を
連れ去って

ここに
いる

カ
カ
カ

…体
に障るわ

ダイス

もう床に
つきなさい



今度こそ逃げずに

例え許してもらえなくても

ぼくは言わなくちゃいけない



ダイス…？

わっ

セレーニ！



セレーニが
目覚めるまでは
ここにいる

僕は

そうしなければ
ならないんだ



その

…ナギは

君以外は
誰も…



…そう

ホロ



セレーニ!!
よかった

もう目を開けて
くれないんじや
ないかって…

ここ…村?



セレーニ

ぼくは
本当に…

君に
ひどい事を…



ダイスが
あやまる事なんて
何もないわ



裏切りも

許せるから

だけどナギ…あなたはいない

こっちだよ

セレーニ

つないだ手の冷たさも

覚えているのに



でも好き

寒くて

死にそうよ

ここは 偽りの帝国

優しいうでと 同情と 甘い匂いの 花が支配する国

意地っぱりね

私がいなきや

だめなくせに

「セレーニ」

「セレーニ」



「大丈夫 ひとりにはしないよ」

ここは優しい嘘の国

そしてまた 冬は 訪れる

END.

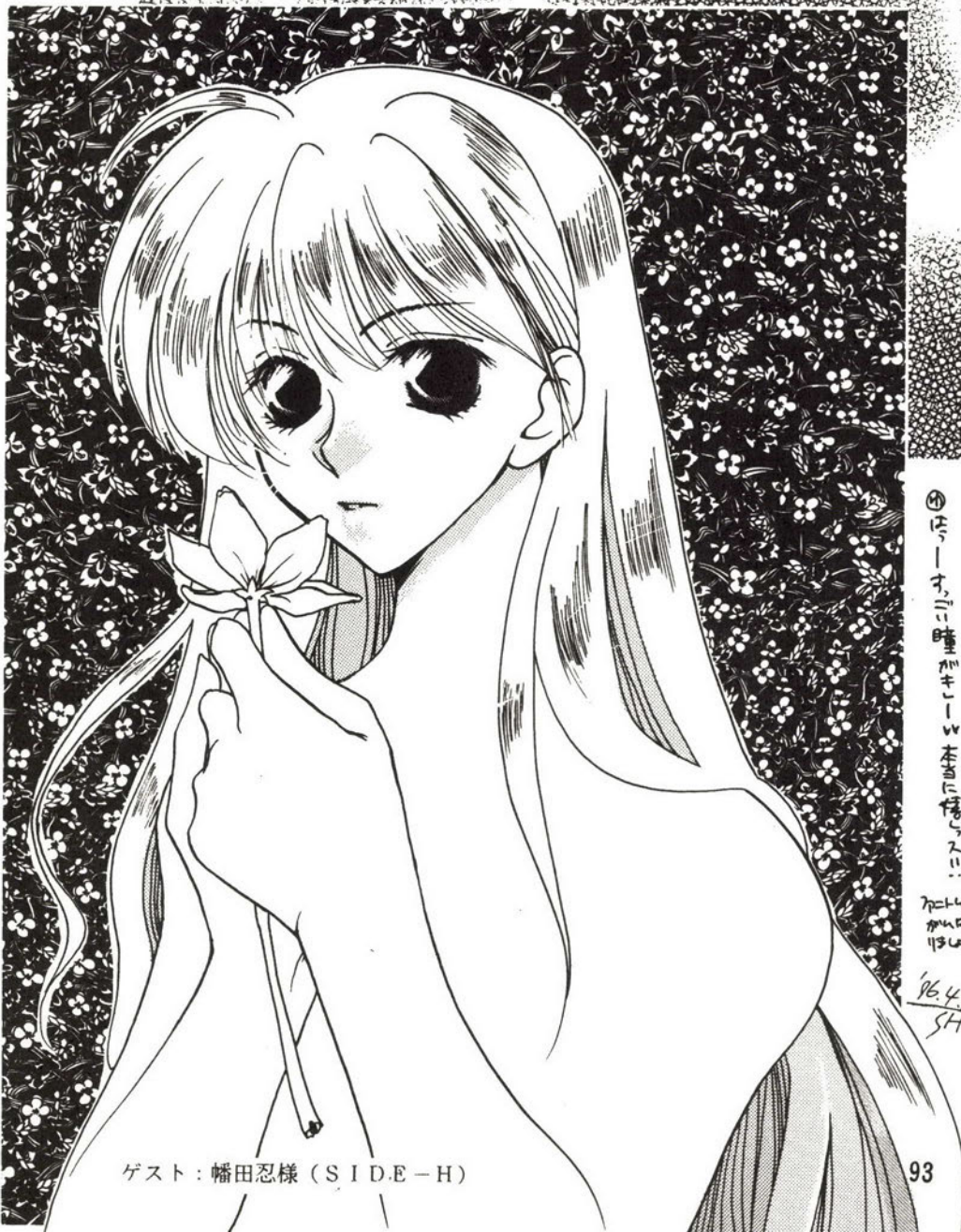
18 years old

ENDING

るゆものがたい”
 総集編 発行 おめでとう”
 一応のセレーニのつもと...”ど”
 人様のキョウ、2 幸しいのと
 時間 ないのと” こんなのだ
 ご免なさい。今回は
 お招き 有難う。

④ ムリ言っちゃってスミマセン。とってもがーん!!! せーはあり
かーいーがーいーまーいー

Winter
Story.



めはーす、い瞳がキレイな本に惚れス!!

カミ
かん
13は

16.4.10
SH

ゲスト：幡田忍様 (SIDE-H)



■こんにちは、結城梓です。と、ゆーことで（何がだ）「ふゆものがたり」総集編でございます。

完結して一年経ったし、何より私にとって特別な作品なので、こういう形にまとめてみましたが、いかがでしょうか？（新刊出せ、という意見はおいといて）書き下ろし…というか書き直しもガンガンにいれてみたのですけど。（…などと言いつつ、この文章の段階ではペン入れすらも終わってない私…）実際、数えたら新刊作れるくらい直してるぞ…けど、これでも直すのセーブしてるんです。キリがないので。前編部分なんか本当は全部書き直したいいいいしくしく。書き直しのところなんかは昔の絵に極力似せようと努力はしてるんですけど…。一発で解っちゃいますね。トホホ。

■「ふゆものがたり」に関して今思うことは、「私の漫画の分岐点」だなあ、という気持ち。初めての前後編でしたし。これを描く前は、一作ごとに私は課題を決めて漫画に取り組んでいたのですが（背景をきちんと描こうとか、ストーリーを重視しようとか）、これはそれらの集大成になってます。「漫画ってこう描けばいいんだ」というのが実感出来たのが嬉しかったですね。（ただ、まだまだテクニックも経験もたりませんけど）キャラクターに気持ちがすごく入り込めたし、自分でも気に入ってるから読み返せるし（笑）。（これ、実は結構重要な事なんですよね）

感想のお手紙も貰いました。セレーニも、ナギも、おねーさんも、すごく愛してもらって、ありがたかったです。本当に嬉しい。しかもここを読んでるってことは買い直してもらってるんですよ。ありがとうございます。えへへなかなか忙しくてお返事が出来にくくなってるのですが、手紙はいつも楽しく読んでますので…。半年経っても返事がなかったら怒ってやって下さい（不精者）。

■キャラクターに関して少し。

セレーニ。私、金髪の女の子に弱いんです（笑）。外見はそういう理由から。せーかくは…動かしやすくてラクでした。コンセプトとしては「純粋さ」。それを表したくって作りました。純粋だからこそ、傷つけたりすることもある。厳しいけど、それを言いたかった。私は絶対、「純粋さゆえの罪」というのは存在すると思うので。こういう純粋さに出会ったら、好きになるか（ナギ）、憎むか（スサ）、どちらかのような気がします。

ナギ。コンセプトは「博愛」。返せば、優柔不断。大事なものをすべて選ぼうとする欲張りな人。でも、わたしはそれって当然かなあと思います。わがままな事ですけど。それをわかってて尚、足掻くことは、すごく人間っぽい気がします。私に一番近いキャラかも…（笑）。欲張りなのです、私。

「おねーさん」こと、スサ。冬神さま。このひとは「狂気」。全てに対して独善的で、狂ってる。でもナギがいるだけで良かった、という所はすごく執着強く怖い。話の展開上、便宜的に作ったキャラだったのですが、描いて行くうちにこの人なしではこの話は語れなくなってしまいました。うーん。



この話の終わりを、読んで下さる方がどう思われるかは解らないのですが…少なくとも、私は悲劇のつもりで描いたんじゃないんです(笑)。(けっこう、こういうご意見戴いたので)確かに、客観的にみるとそうなんですけど、真剣に生きてるからこそ、ああいった終わりが存在することが出来るというか…ああ、なんかえらそーなんですけど。

つまり、ハッピーエンド。私は、実はそのつもりなんです(苦笑)。作品についてどーこー言うのは苦手なんで、うまく言葉が見つからないんですが、そういうことだったりします。まあ、言葉で言い表せないから、漫画にするんでしょうけど(笑)。

■外伝「月の運命」について。これは超小部数のコピー誌からの書き直し再録です。でも実は結構重要な話だったり(本当は、後編に外伝二本とも入れたかったんですが、時間がなくて…)私は設定を説明するのが苦手なので、スサ達の裏事情とか設定しても描かなかったんですが、せっかくの総集編なので、ネタばらしを。この世界には人間の住む世界のほかに、季節毎の神々が住む夢幻の国が四つあります。スサたちはもちろん冬の国です。一度神様になると、千年という長い時間を生きることになります。たいていの神様は千年の間に人間を幾人かかっさってきて(いわゆる神隠し)子供をたくさん作ります。その中から後継者を選ぶ訳です。なので、冬以外の国はにぎやかです。でも、先代冬神はスサとナギしか生まなかったんです。そのうえ、すごく冷酷な人だったので、スサたちのことはそっちのけ。(でも愛してたと思います)だから、ふたりは千年間ふたりぼっちで過ごしてきた。守りあってきたわけです。そして後継を選ぶとき。力を受け継ぐためには、冬神が死ななくてはならない。やり方はいろいろあるけれど、あえて「剣」を選ぶ。好きな人になら殺されてもい、と。そして、スサも同じようにして。また、ナギも。

これが裏事情。うーん、やはり重要だった(しくしく)。この話を読んでると、外伝二のテーマがご理解頂けると思うのですが。(……だめ?)

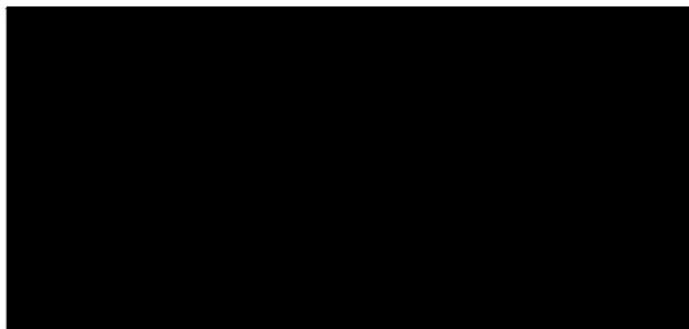
でも、個人的に急いだ割りには結構お気に入り。コピーの時は事実、一日足らずで描いたもの…今回、直せて良かったです。

■ああ、しかしフリートークって苦手だ!! (突然)私の本、どうしていつもトークが一頁くらいしかないかというと、こういう理由なのです。わたし、漫画を描くことの方が思ってること表現しやすいです。トークは苦手!! (えばるな)このあとがきだって、実は一週間ごし(笑)。でもでも、漫画が多い方が読者さんは嬉しいですよね?(でも、少なすぎ、とか言われるのだから…)たぶん、これからもあんまりトークとか無いと思いますが、よろしくお付き合いくださいませね。新刊出るの遅いし、ペーパーも不定期だし、イベントもあんまり出ないサークルですが…(苦笑)。(いちお、社会人になったので、いろいろ都合つかなくなっちゃったのですよ)読者さんの反応を、いつも楽しみにしてるのでお手紙など頂けたら嬉しいです。

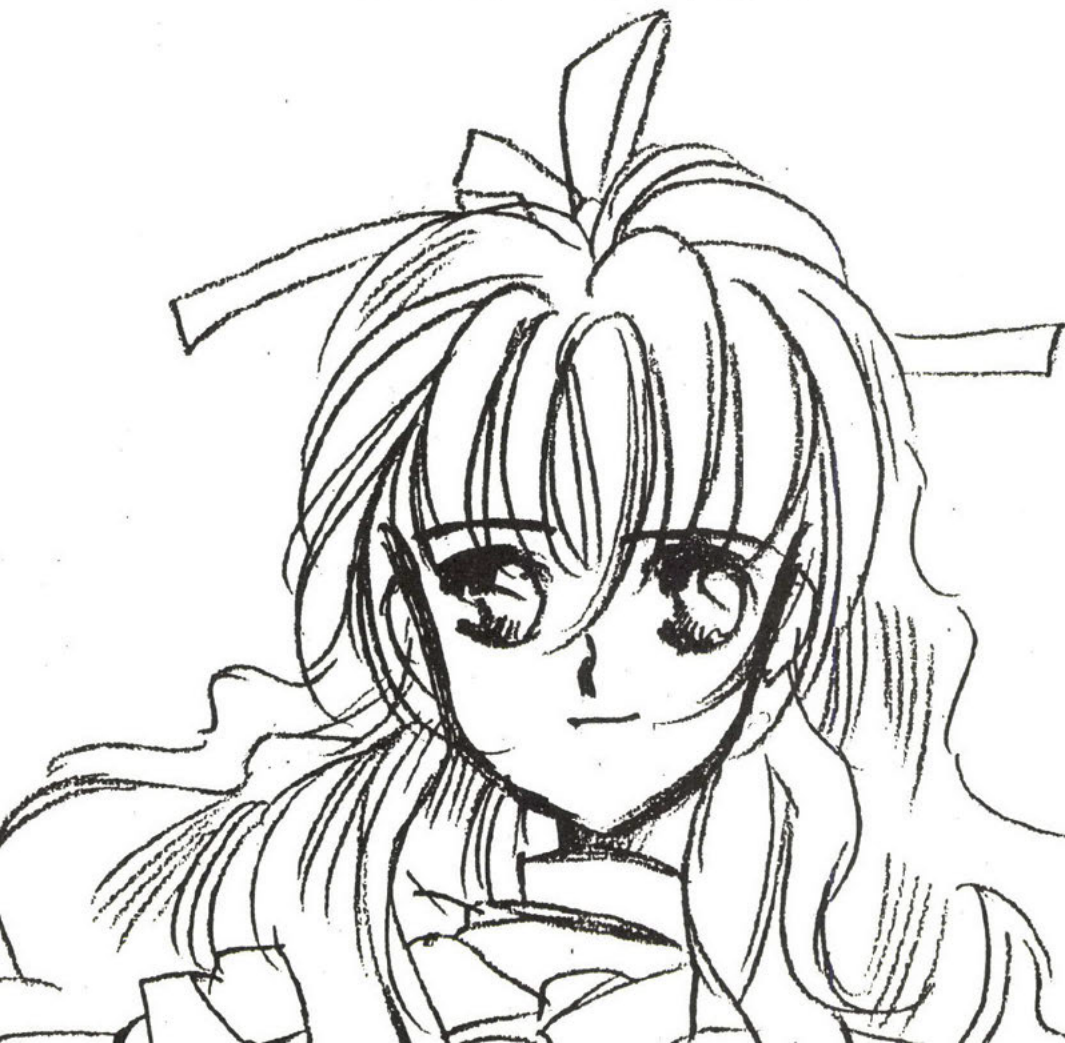
それでは、またお会い出来ることを祈って。

1996 4月

結城 梓 梓



◎ペーパーご希望の方は、80円切手付き返信用封筒を同封の上、
お問い合わせ下さい。（発行は不定期です）





なにか別の事を言い合えていれば

誰も悲しみはしなかったのに

一姉上一

ふゆものがたり外伝

夢のあとさき

目が覚めると そこは氷の国だった

どうして

そう

生きている

意地っぱりなんですか…



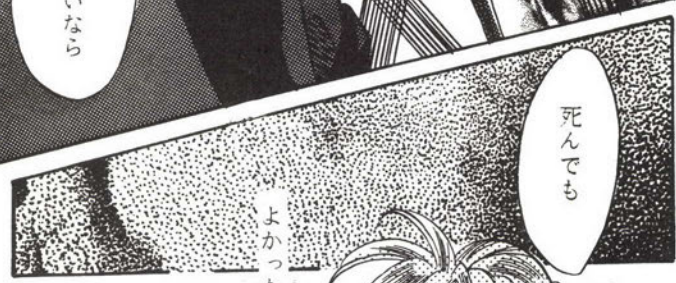
失いたくは

なかった

どちらも

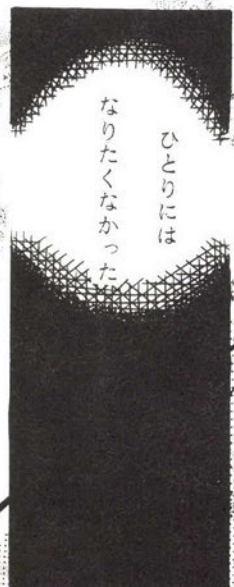
選べないなら

あのひとの死とひきかえに



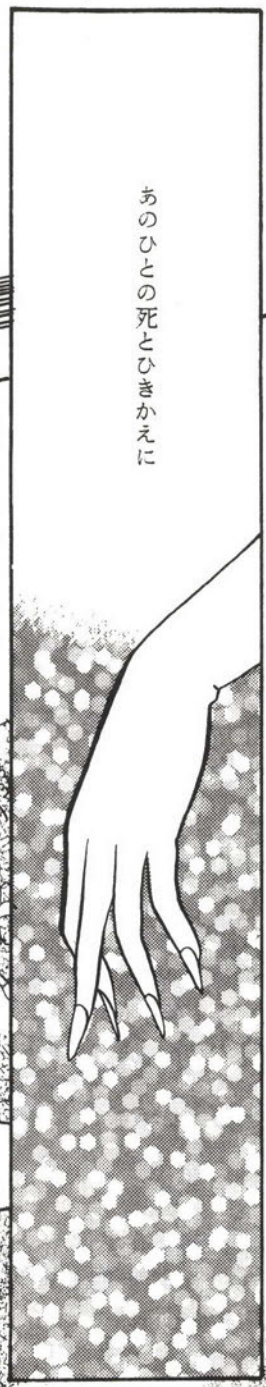
死んでも


よかったと...でも



なりたくなかった


ひとりには



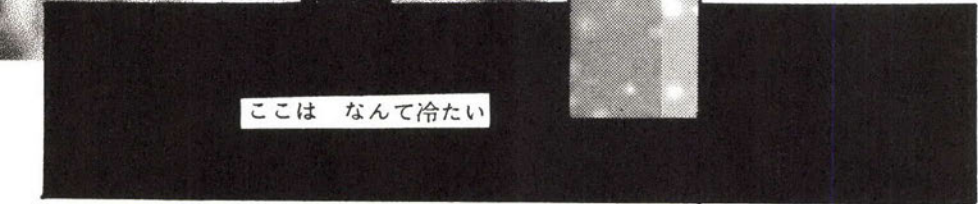


儚い約束を守りたかった


どちらにも守りきれぬはずもないのに



汚れていく



ここは なんて冷たい



でも僕はここで あのひとと同じように生きるんだ

あなたを
死に
追いやった

その罪を
背負って…

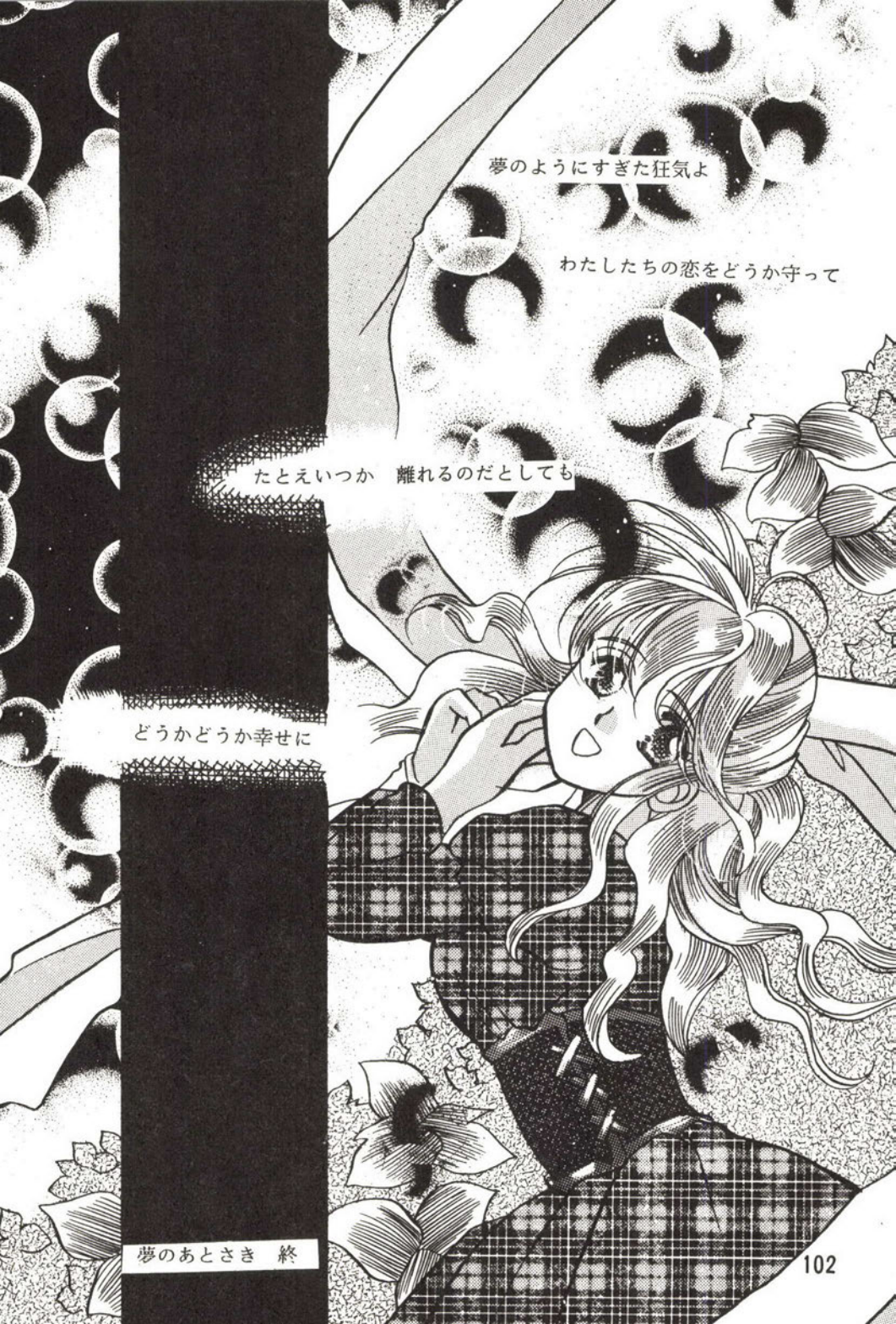
来る千年 後の世に
愛する者に殺されよう

そして

愛しています

僕の姉上

愛しています…



夢のようにすぎた狂気よ

わたしたちの恋をどうか守って

たとえいつか 離れるのだとしても

どうかどうか幸せに

夢のあとさき 終

AZUSA*YUHKI

A.M

